

2. 若葉保育園(岩手県 花巻市)

I 実施結果の概要

1. 事業の実施結果

(1) 育児講座の開催

地域の子育て家庭を対象に、育児に関する講座を開催。

i 第1回育児講座「じょうずにはみがきできるかな」

8月24日(火) 10:00～11:00

2～4歳の子どもとその保護者を対象に、歯みがきの大切さを理解させ、むし歯予防の保健指導を行った。

講師 岩手県歯科衛生士会の歯科衛生士 2名

16組の参加。口腔内の細菌を位相差顕微鏡で実際に見たり、歯の染め出しを行った。

ii 第2回育児講座「子育てに役立つお薬のおはなし」

10月3日(水) 10:30～11:30

薬についての基本的な知識を学び、子どもの健康について不安の軽減につとめ、安心して子育てができるよう支援することを目的に開催した。

講師 はじめこどもクリニック薬剤師 高橋めぐみ

30名の参加(託児24名)

日頃疑問に思っていることや、受診時になかなか聞くことができないことについて、具体的に聞くことができた。

また、薬のじょうずな飲ませ方について、さまざまな方法を具体的に指導を受けた。

iii 第3回育児講座「おいしくたのしく子どもの食事」

11月21日(水) 10:00～11:00

子どもの食事について、調理の仕方や食べさせ方のテクニックを学ぶとともに、日頃困っていることや悩んでいることに対して、アドバイスをを行った。(1歳前後の子どもと保護者対象)

講師 第二双葉保育園栄養士 大友 嘉恵

若葉保育園地域子育て支援センター主任指導員 阿部 正子

8組の参加。講義の後試食を行った。量や材料の大きさなど実際に眼で見たり食べてみたりすることによって理解が深まった。また、子どもに食べさせている様子を見ることによって、具体的に指導することができた。

(2) 子育てサークルに保育士等を派遣し子育てを支援

i 子育てサークル合同親子運動会の開催

11月5日(月) 10:00～11:30

子育てサークル合同の親子運動会を実施し、サークル同士の交流を深めた。参加サークル「かるがも会」「ひよこチーム」「アリスの会」「ジャンケンキッズ」37組(子ども41名)の参加。競技内容を年齢に合わせ、わかりやすいものにした。

ii 子育てサークル支援「ひよこチーム」

7月23日(月)10:30~11:30

14組の参加。体を使った遊びの指導。風呂敷等を使って、簡単な身体表現やゲーム遊びを楽しんだ。「ミニ健康講座」

8月27日(月)10:30~11:30

11組の参加。室内遊びの指導。エプロンシアターやパネルシアターを使って、手遊びや歌、お話を楽しんだ。

9月17日(月)10:30~11:30

12組の参加。運動遊具を使用しての運動遊び。小型の運動遊具を組み合わせて、渡る、跳ぶ、這う、昇り降りするなどの運動遊びを十分に楽しんだ。

12月17日(月)10:30~11:30

9組の参加。季節にちなんだ製作活動。クリスマスの帽子作りを行った。親子でクリスマスソングにあわせてダンスを踊った。「ミニ健康講座」

(3) 広報活動の充実

i 地域子育て支援センターのパンフレット作成

地域子育て支援センターのパンフレットを新しく作り直し、関係諸機関に配布依頼した。

ii 広報紙の製作・配布

支援内容や子育てに関するアドバイス、子育てサークルについての情報を載せた広報紙を製作し配布した。

iii インターネット上での広報活動

地域子育て支援センターのホームページを毎月更新して、子育てに関する助言や支援活動について、情報発信を行った。

2. 開催した主な会議等

7月9日	調査研究事業企画運営会議
7月19日	子育てサークル支援打ち合わせ
8月7日	第1回育児講座運営会議
8月23日	第1回育児講座打ち合わせ
8月24日	子育てサークル支援打ち合わせ
9月14日	子育てサークル支援打ち合わせ
9月25日	第2回育児講座運営会議
10月2日	第2回育児講座打ち合わせ
10月15日	子育てサークル合同親子運動会企画会議
10月22日	子育てサークル合同親子運動会準備
11月1日	子育てサークル合同親子運動会打ち合わせ
11月12日	第3回育児講座運営会議
11月20日	第3回育児講座打ち合わせ

- 12月7日 子育てサークル支援企画会議
12月14日 子育てサークル支援打ち合わせ
12月25日 調査研究事業反省会

II 実施状況

地域子育て支援センターに来園する親子を対象に、望ましい親子関係の育成に重点をおいた支援活動を実施することを目標に、以下の計画を立てて実施しました。

(1) 広報紙の製作・配布

地域の子育て家庭を対象に、育児に関する講座や講習会を開催したり、子育てサークルへ保育士を派遣し子育てを支援する。

活動に参加した保護者に対して、子育て支援活動に関するアンケート調査を実施する。

(2) 広報活動を充実させ、子育て家庭に対し子育てに関する助言や情報・支援活動の内容を発信する。

育児講座

・第1回 歯科保健指導「じょうずにはみがきできるかな」

平成13年8月24日(金)10:00～11:00 花巻市生涯学習都市会館において家庭にいる2歳から4歳までの親子を対象に行い、17組の参加となりました。担当者は現職保育士2名、看護婦1名。

講師は岩手県歯科衛生士会に依頼し、2名の歯科衛生士から指導を受けました。

参加した子どもの口の中に細菌がいるか、位相差顕微鏡で実際に見せていただきました。テレビ画面に映し出された細菌の動く様子に、どの親子も身を乗り出して見入っていました。その後歯の染め出しを行って、みがき残しをチェックしました。視覚に訴えることによって、親子でともに歯みがきの大切さを学ぶことができました。

・第2回 「子育てに役立つお薬のお話」

平成13年10月3日(水)10:30～11:30 花巻市保健センターにおいて家庭で子育てしている保護者を対象に、30名の参加で行いました。担当者は現職保育士2名、看護婦1名。

講師は、当保育園嘱託小児科医院の薬剤師にお願いし、子どもの薬に関する基本的な知識について講義を受けました。日頃疑問に思っていることや、受診時になかなか聞くことのできないことを、具体的に教えてもらうことができました。特に、薬のじょうずな飲ませ方については、補助具を使用する方法、お薬だんごの作りかた、フレーバーを用いる方法など、実習をまじえて詳しく教えていただきました。質問もたくさん出て、和やかな雰囲気の中で講義が行われました。

その間、子どもたちは託児を行いました。24名の託児に保育者は市内の他の子育て支援センターから派遣していただいた保育士3名、若葉保育園の保育士3名合計6名で保育を担当しました。

・第3回 「おいしく、楽しく、子どもの食事」

平成 13 年 11 月 21 日（水）10:00～11:00 若葉保育園地域子育て支援センターにおいて、ぽっぽサロンを利用している親子を中心とした、1 歳前後の子どもと保護者を対象に、8 組の参加で行いました。担当者は現職保育士 1 名、看護婦 1 名。

講師は、第二若葉保育園栄養士と、若葉保育園地域子育て支援センター主任相談員で、栄養士からは子どもに必要な栄養とそのじょうずな摂取方法、調理の仕方や工夫について、主任相談員からは、食べさせ方のテクニックについて講義を行いました。その後試食を行い食材の大きさや量、味付け等について、実際に目で見たり食べたりすることによって理解が深まりました。また、子どもに食べさせている様子を見ることによって、具体的に指導することができました。

子育てサークルに対する支援

・子育てサークル合同親子運動会の開催

平成 13 年 11 月 5 日（月）10:00～11:30 花巻市総合体育館において花巻市内の子育てサークル「かるがも会」「ジャンケンキッズ」「ひよこチーム」「ありすの会」に入っている親子を対象に 37 組の参加で、サークル間の交流もかねて行いました。担当者は現職の保育士 3 名、看護婦 2 名。

競技内容を年齢にあわせてわかりやすいものにし、競技終了後は、メダルやごほうびも用意し、満足感を持たせるようにしました。

・子育てサークル支援

「ひよこチーム」の依頼を受け、定期的に支援を行いました。

〈体を使った遊びの指導〉担当者現職保育士 1 名、看護婦 1 名

平成 13 年 7 月 23 日（月）10:30～11:30 二枚橋町会館において 14 組の参加。風呂敷等を使って簡単な身体表現やゲーム遊びを楽しみました。

「ミニ健康講座」としてこの時期に起こりやすい食中毒についてのお話をし、その後発育・発達についての相談を受け助言を行いました。

〈室内遊びの指導〉担当者現職保育士 1 名、看護婦 1 名

平成 13 年 8 月 27 日（月）10:30～11:30 二枚橋町会館において 11 組の参加。エプロンシアターやパネルシアターを使って、手遊びや歌・お話を楽しみました。

〈室内での運動遊びの指導〉担当者現職保育士 1 名、看護婦 1 名

平成 13 年 9 月 17 日（月）10:30～11:30 二枚橋町会館において 12 組の参加。小型の運動遊具(マット、ドリームトンネル、フープ、渡り板、ソフトブロック等)を組み合わせて、渡る・跳ぶ・這う・昇り降りするなどの運動遊びを楽しませました。

〈季節にちなんだ製作遊びの指導〉担当者現職保育士 1 名、看護婦 2 名

平成 13 年 12 月 17 日（月）10:00～11:30 二枚橋町会館において 9 組の参加。クリスマス用の三角帽子作りを行いました。でき上がった後は親子でクリスマスソングにあわせてダンスを踊りクリスマス気分を味わいました。

「ミニ健康講座」として子どもの視野体験めがねの型紙を配布し、子どもの視野についてと事

故防止についてお話をしました。

広報活動の充実

・子育てサークル合同親子運動会の開催

地域子育て支援センターのパンフレット作成

地域子育て支援センターのパンフレットを新しく作り直し、関係諸機関に配布依頼しました。

・広報紙の作成・配布

支援内容や子育てに関するアドバイス、子育てサークルについての情報を載せた広報紙を作成し配布しました。

・インターネット上での広報活動

地域子育て支援センターのホームページを毎月更新して、子育てに関する助言や支援活動について、情報発信を行いました。

III 考察と展望

育児講座については、その内容にあわせて対象となる子どもの年齢を限定しました。参加人数の少ない講座もありましたが、本当に必要としている人たちに講座を受講してもらうことができ、参加者の反応も非常によく、好評をいただきました。今回の講座は他の地域子育て支援センターとも連携し、チラシの配布や託児のお手伝いの協力を得ることができました。

託児については、初めて親と離れて預けられた子どもも多く、保育者の数や保育の内容など検討の余地があることを痛感しました。保護者は託児があることを喜んでいましたが、子どもたちにとっては必ずしも楽しいこととはいえない面もあり、親子一緒にできる内容を工夫していくなど、今後の講座のあり方を考えていく必要があると感じました。

子育てサークルに対する支援活動は、今回初の試みである子育てサークル合同親子運動会を開催し、大成功をおさめました。毎年、子育てサークル「かるがも会」から運動会の支援の依頼があり、お手伝いをしていましたが、今年は本事業の予算を使って他のサークルと合同で行うことができました。「かるがも会」が中心となって企画し、手作りのプログラム製作なども行いましたが子ども連れでの準備には限界があり、支援センターが全面的にバックアップしました。今回の運動会をきっかけにサークルに加入した人も多く、また参加者から「来年もぜひ開催してほしい」という感想も数多く聞かれ、親たちの求めている内容が見えた気がしました。今後継続して行うにあたっては、サークルの自主性も育てるような支援の仕方を考慮し、子育てサークルに限らず参加対象を広げて取り組んでいきたいと思えます。

花巻市内には現在8つの子育てサークルがあり、それぞれ独自の活動を行っています。目的がはっきりしていて自主的に活動しているサークル、代表者が代わると雰囲気や全く変わってしまい活動内容も変わっていくサークル、子育て支援センターに依存しているサークルとさまざまです。サークル加入者の入れ替わりも大変多く、幼稚園入園や転勤等で2年も経つとメンバーが全く違う人たちになってしまいます。支援もその時々要望や相手に合わせて柔軟に対応してい

なければなりません。

また、子育てサークルの数は年々増えてきており、その活動拠点をどこにするかという問題も起きています。地元の公民館を利用していたサークルが、館長さんが変わったとたんにギクシャクして利用が難しくなったことがあります。この公民館は1階が事務室で2階の広間を借りて活動していたのですが、子どもたちが飛び跳ねる音が響いてうるさいという苦情が出ました。また、駐車場での子どもの様子を見て(帰りたくないと言っていたようです)、注意を受けました。結局、この公民館の利用をあきらめ、他の場所に活動拠点を移しました。地元密着型のサークルだったので、参加できなくなった親子もいました。

利用するのにお金がかかる、飲食ができない、小さい子を連れての利用が不便であるなどの不満の声もあがっています。子育てサークルがのびのびと活動できる公共の(費用のかからない)場所の確保が望まれます。

子育て支援事業に参加する親子の大半は、転勤族又は結婚して他の地から花巻市に来た人たちです。見知らぬ土地に来て、友達もいない状態から生活や子育てが始まるので、子育て支援事業の果たす役割は非常に大きいものがあります。また、子育て支援事業を利用していくうちに情報交換もなされ、各保育園の支援事業を、自分の都合にあわせてじょうずに利用できるようになっていきます。花巻市内には3つの地域子育て支援センターと公立・法人立合わせて14の保育園が、子育て支援事業を行っていますが、これらの保育園を実に効率よく利用している親子がたくさんいます。そのため、育児講座やイベントがあるときに参加するのは大体同じメンバーになってしまうこともありました。

子育てサークルに入っている親子も同じように、子育て支援事業をじょうずに利用し、子育てにまつわるストレスを発散して、仲間の輪を作り上げていました。子育てについての悩みや相談事も積極的に話し合っ、子育てを楽しんでいくことができる人たちが多くに思います。何事に対しても積極的・意欲的そして適応性があるのは、他から花巻市に来た人たちで、地元の人たちは元からの友達同士でかたまってしまいう傾向があります。あらためて友達を作らなくても、すでに友達の輪ができ上がっているためでしょう。どんどん友達を作りたい人、こじんまりと親しい人とだけ話をしたい人、支援の場に参加する人たちの思いはさまざまです。それぞれの気持ちを尊重して、対応していかなければなりません。ある時は積極的に紹介し、またある時は見守るだけ、とその場その場でコーディネートの手法を変えていく必要があります。支援はおしつけにならず、相手の隠れた要望を感じ取る技量が必要です。支援事業に携わるものは常に自己研鑽を積み、魅力ある存在でいなければならないと思う毎日です。

電話の育児相談で、子どもの発達についての不安を訴える母親たち、またインターネットのメールによる育児相談で、深夜に子育てのつらさや悩みを切々と訴えてくる人たちがいます。相手の様子を想像はしてみるものの、顔が見えてこない、メールでは声を聞くこともできない状態で、こちらから送った励ましや助言が、きちんと伝わったかどうか、とても気になります。自分のつらさを吐き出すことによって、少しは楽になっているのではと期待していますが……。こういう人たちへの支援が今後の課題です。広報活動をさらに充実させ、困った時、悩んだ時にいつでも相談できる

場所であることを広く知らせていくことと、地域子育て支援センターが子育てに悩んでいる人たちのほっと一息つける場所になれるよう、関係諸機関との連携をもちながら、これからも事業を積極的に展開していきたいと思います。